

こどもの成長をみる視点・観点

【課題分析のポイント】



子どもをみる視点をもつ（総合的な支援の方針）

① 発達的特質の理解

- ・ 身体的発達
- ・ 知的発達
- ・ 社会性の発達
- ・ 自我の発達
- ・ 基本的欲求の発達

② 個人的特質の理解

- ・ 認知的特質
- ・ 性格的特質
- ・ 態度—意欲の特質

課題分析（カテゴリ分類）のポイント

課題分析・分類のポイント

【2つの面から特質を把握する】

① 発達的特質の理解

- ・ 身体的発達
- ・ 知的発達
- ・ 社会性の発達
- ・ 自我の発達
- ・ 基本的欲求の発達

② 個人的特質の理解

- ・ 認知的特質
- ・ 性格的特質
- ・ 態度一意欲の特質

① 発達的特質の理解

- ・ 身体的発達
- ・ 知的発達
- ・ 社会性の発達
- ・ 自我の発達
- ・ 基本的欲求の発達

さまざまな発達理論

- ・フロイトの心理学的発達理論
- ・ゲゼルの成熟優位説
- ・行動主義の学習理論
- ・ピアジェの発生的認識論
- ・バンデューラの社会的認知理論
- ・エリクソンの社会的発達理論 など

発達の特長（厚生労働省）

1 乳幼児期

2 学童期

小学校低学年・中学年・高学年

3 青年前期

中学校

4 青年中期

高等学校

① 発達的特質の理解

【身体障害の種別】

・ **身体的発達**

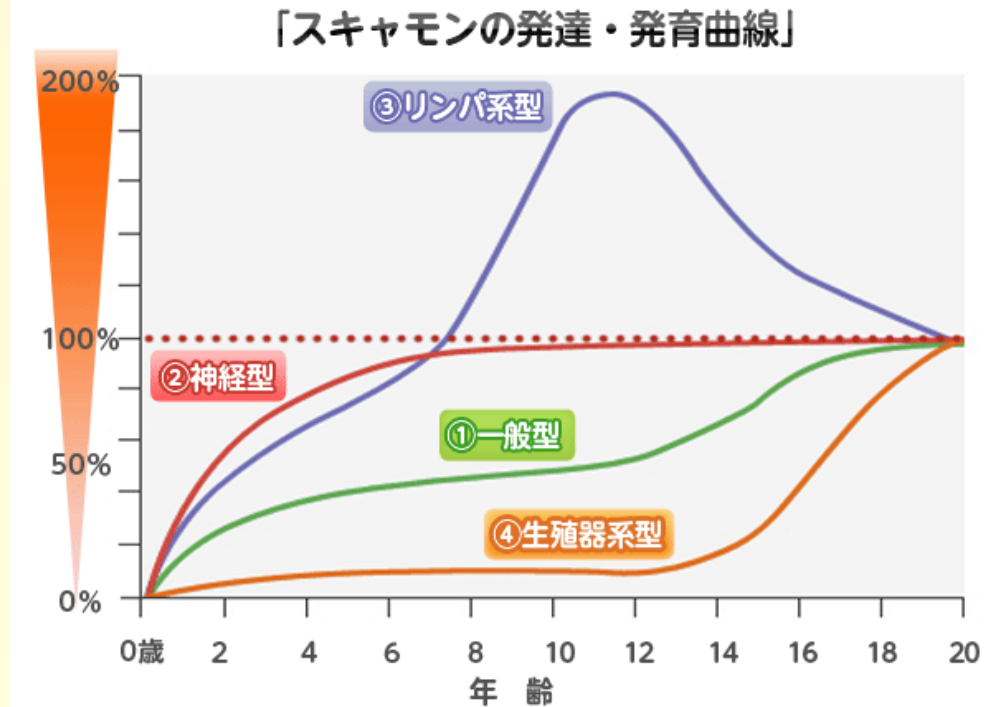
・ 知的発達

・ 社会性の発達

・ 自我の発達

・ 基本的欲求の発達

- ・ 視覚障害
- ・ 聴覚障害
- ・ 音声機能、言語機能又はそしゃく機能の障害
- ・ 肢体不自由
- ・ 心臓、じん臓又は呼吸器の機能の障害



① 発達的特質の理解

- ・ 身体的発達
- ・ **知的発達**
- ・ 社会性の発達
- ・ 自我の発達
- ・ 基本的欲求の発達

- ・ 言語理解
- ・ 知覚推理
- ・ ワーキングメモリ
- ・ 処理速度

- ・ 結晶性領域
- ・ 流動性領域
- ・ 記憶領域
- ・ 論理推理

WISC-IV

田中ビナーV

SACCESS・BELL
Scientific access for the better life

Google

- ▶ 医療関係検査 ▶ 個別式検査 ▶ 学校用検査 ▶ 企業用検査 ▶ 書籍紹介 ▶ 特別支援関連
- ▶ 医科診療報酬点数適用心理検査 ▶ コミュニケーションツール ▶ 箱庭療法・心理療法

ご注文

見積のご依頼

資料のご請求

カタログダウンロード

お問い合わせ

商品とサービス紹介

▶ 医科診療報酬点数適用心理検査

こちらから一覧をご覧ください。

▶ 医療関係検査

クリニック、病院関係(心療内科、小児科)でご利用いただいている検査をご紹介します。

- 心療内科関係の検査
- 小児科関係の検査
- リハビリ関係の検査

▶ 個別式検査

医療・教育などの臨床・研究で使用する検査をご紹介します。

HOT!



WAIS-IV知能検査

8月30日発売！ご注文承ります。

画像提供: 日本文化科学社



SRS-2対人応答性尺度

日本文化科学社より2017年12月20日発売！自閉スペクトラム症(ASD)と関連する症状を測定する検査です。

画像提供: 日本文化科学社



日本版 WPPSI-III知能検査

日本文化科学社より2017年12月22日発売！

画像提供: 日本文化科学社



CCC-2子どものコミュニケーション・チェックリスト

日本文化科学社より2016年11月発売！コミュニケーションにおける言語的な側面を評価します。

画像提供: 日本文化科学社

知能検査

投影法検査

親子関係検査

不安・ストレス関係検査

発達関係検査

老人精神機能測定・リハビリ関係検査

言語関係検査

精神作業検査

職業適性・興味検査

健康調査・メンタルヘルス関係

言語訓練・失語症・教材セット

スポーツ競技関係検査

性格・人格検査

読書力検査

各種検査の
カテゴリ・領域
を知る



LD・ADHD等関連用語集【第4版】



MEPA-R活用事例集



課題分析・分類のポイント

【カテゴリ分類を考える視点】

検査名	対象年齢	検査カテゴリ等
新版K式発達検査	0～13	「姿勢・運動」「認知・適応」「言語・社会」
田中ビネー検査	2～成人	「思考」「言語」「記憶」「数量」「知覚」
ウェクスラー式知能検査		「言語理解」「視覚空間認識」「流動性推理」「ワーキングメモリ」「処理速度」 W P P S I (3～7.3) W I S C V (6～16) W A I S (16～)
K A B C - II	2.6～ 12.11	「認知(継次 同時 学習 計画)」「習得(語彙 読み 書き 算数)」
D N - C A S 認知評価	5～17.11	「プランニング」「注意」「同時処理」「継次処理」
P V T - R 絵画語彙発達	3～12.3	「語彙理解力」
I T P A 言語学習能力	3～9.11	「言葉の理解」「絵の理解」「言葉の類推」「絵の類推」「言葉の表現」
構音検査	幼～成人	「単語」「音節」「音」「文章」
L C スケール	学齢期	「文・文章聴覚理解」「語彙定型句の知識」「発話表現」「柔軟性」「リテラシー」
L D I - R	小1～中3	「基礎学力(聞く 話す 読む 書く 計算 推論 英語 数学)」「行動」「社会性」
描画検査		投影検査の一種：バウムテスト H T P テスト
投影検査		絵や写真への反応：ロールシャッハテスト T A T (主題統覚検査)
質問紙検査		質問への回答から：Y G 検査 M M P I (ミネソタ多面人格目録) など
作業検査法		作業の結果から：内田クレペリン検査 ベンダーゲシュタルトテスト

① 発達的特質の理解

- ・ 身体的発達
- ・ 知的発達
- ・ **社会性の発達**
- ・ 自我の発達
- ・ 基本的欲求の発達

- ・ コミュニケーション
- ・ 日常生活スキル
- ・ 社会性
- ・ 運動スキル
- ・ 不適応行動

Vineland-II

- ・ 身辺自立
- ・ 移動
- ・ 作業
- ・ コミュニケーション
- ・ 集団参加
- ・ 自己統制

S-M社会生活

特別活動って どんな教育活動なの？

特別活動は、子どもたちの自治的な能力や自主的な態度を育て、学力向上の基盤に必要な望ましい人間関係を築き、いじめや不登校などの問題に対する予防的な役割を果たすなど、子どもたちの成長に欠かせない教育活動です。

特別活動の目標

望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。

小学校学習指導要領第6章 特別活動

内容

特別活動に期待されることって何？

学級活動(1) 学級や学校の生活づくり

学級会をどう指導するの？

学級会の事前の指導は？

学級会の時間の指導は？

学級会の事後の指導は？

係活動をどう指導するの？

学級活動(2) 日常の生活や学習への適応及び健康安全

目標をもって生活できるようにするには？

生活上の課題をどう授業にするの？

児童会活動をどのように子どもの活動にするの？

クラブ活動をどのように子どもの活動にするの？

学校行事で学校生活をどのように豊かにするの？

教室経営の工夫で特別活動をどのように充実させるの？

特別活動の充実で学校はどう変わるの？

特質意義

目標

望ましい集団活動とは以下のような活動です。

- ◆活動の目標をみんなでつくります。
- ◆目標達成の方法を話し合って決めます。
- ◆役割分担をし、協力して取り組みます。

学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事は、望ましい集団活動を展開することが前提です。

小学校学習指導要領解説 特別活動編 p8

教育的意義は？

- 自分たちで生活の諸問題を解決しようとするたくましい子どもが育ちます。
- 子ども相互、子どもと教師との人間的な触れ合いが深まります。
- 友達と協力して、チームで活動しようとする子どもが育ち、いじめ問題等の未然防止に役立ちます。
- 切磋琢磨できるよりよい人間関係が育ち、効果的に学力を向上するための土壌づくりになります。
- 共生社会の担い手としての豊かな人間性や社会性を身に付けることができます。

【特別活動のねらい】

望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。



日常生活の指導 年間計画

【目標】

- ・ 1 「基本的生活習慣」…日常生活に必要な身辺自立をする
- ・ 2 「健康・安全」…健康で安全な生活をする
- ・ 3 「遊び」…友達とかかわりを持ち、きまりを守って遊ぶ
- ・ 4 「交際」…身近な人と自分とのかかわりが分かり、簡単な応対などをする
- ・ 5 「役割」…集団活動に参加し、簡単な役割を果たす
- ・ 6 「手伝い・仕事」…日常生活で簡単な手伝いや仕事をする
- ・ 7 「きまり」…日常生活に必要な簡単なきまりやマナーを守って行動する
- ・ 8 「日課・予定」…日常生活でおよその予定が分かり、見通しをもって行動する
- ・ 9 「金銭」…簡単な買い物をして金銭の扱いに慣れる
- ・ 10 「自然」…自然や生き物への興味や関心を高める
- ・ 11 「社会の仕組み」…家族や身近な地域の様子に興味や関心をもつ
- ・ 12 「公共施設」…身近な公共施設や公共物などを利用し、その働きを知る

※段階別目標について

- 1 段階…教師と一緒に言う
- 2 段階…教師の援助を受けながら
- 3 段階…自分で

基本的な生活習慣（きほんてきせいかつしゅうかん）

基本的な生活習慣は、子どもが心身ともに健康に育つために生活の基盤となるもので、日常生活の基本となる食事・睡眠・排泄・清潔・衣服の着脱の5つの生活習慣のこと。

「まいと」では、食事・睡眠・排泄・清潔・衣服の着脱の基本的な生活習慣に挨拶・片付けを加え指導しています。

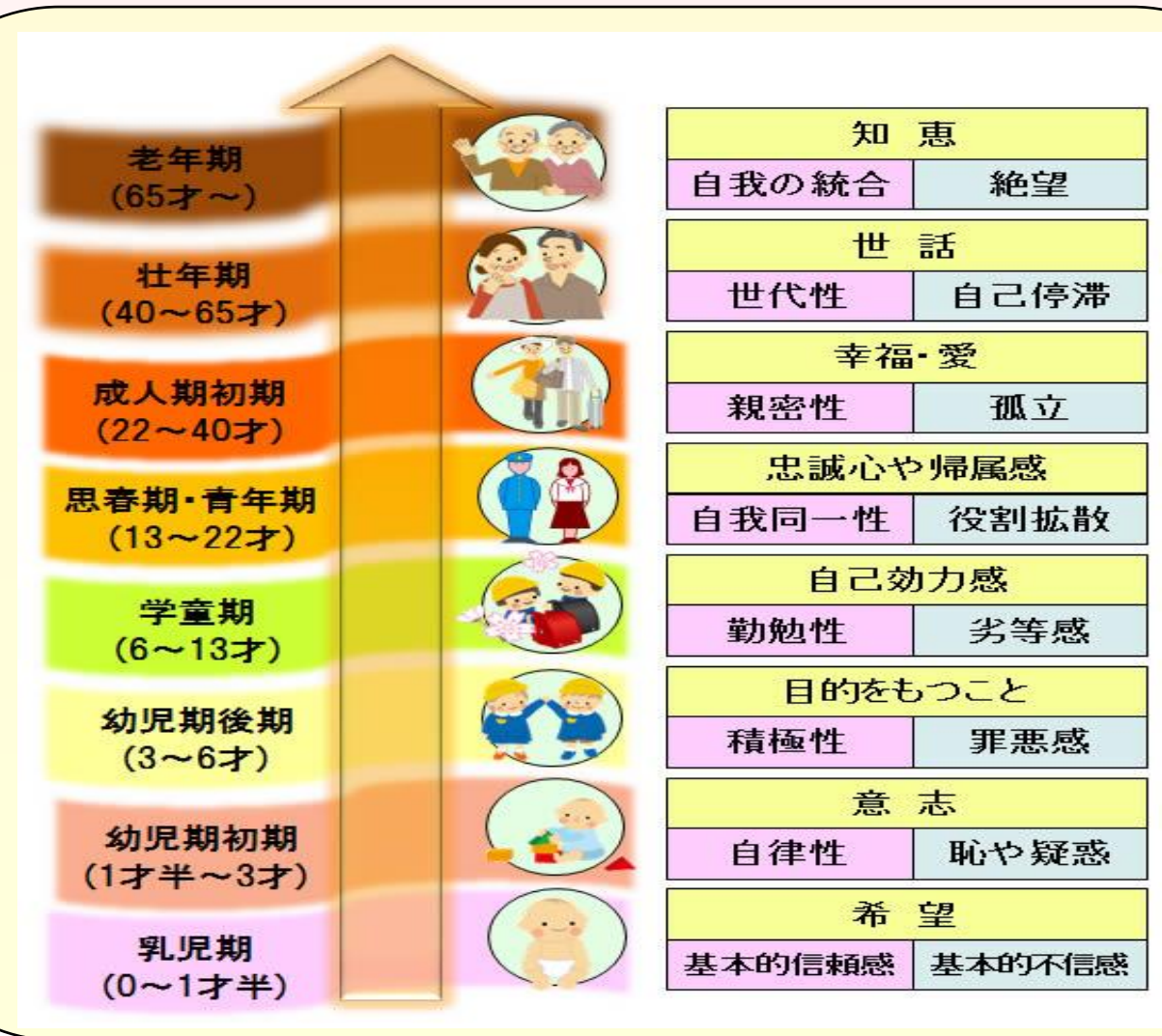
小学校就学までの目標。

- * 食事は、箸を使って自立して食事をする、好き嫌いなく食べることができるようにする。
- * 睡眠は、決まった時間に寝起きし質のよい睡眠がとれるようにする。
- * 排泄は、一人ででき後始末も一人でできるようにする。
- * 清潔は、手洗い、うがい、歯磨き、入浴など、体の清潔を自ら保つことができるようにする。
- * 衣服の着脱はボタン・ファスナー・リボンなどがあっても一人で着脱できるようにする。
- * 状況にあった挨拶ができるようにする。
- * 身の回りの片付けが一人でできるようにする。

① 発達的特質の理解

- 身体的発達
- 知的発達
- 社会性の発達
- **自我の発達**
- 基本的欲求の発達

エリクソンの発達段階



課題分析・分類のポイント

【カテゴリ分類を考える視点】

小学校				中学校
小学校 1・2年	小学校 3・4年	小学校 5・6年		
1 主として自分自身に関すること				
(1) <u>基本的な生活習慣</u>	(1) <u>基本的な生活習慣</u>	(1) <u>基本的な生活習慣・節度節制</u>	(1) <u>基本的な生活習慣・調和のある生活</u>	
(2) <u>勤勉努力</u>	(2) <u>勤勉・粘り強さ</u>	(2) <u>希望・勇気・努力</u>	(2) <u>希望・勇気・強い意志</u>	
(3) <u>善悪の判断・勇気</u>	(3) <u>善悪の判断・勇気</u>	(3) <u>自由・自律・責任</u>	(3) <u>自主自律・誠実・責任</u>	
(4) <u>正直・明朗</u>	(4) <u>正直・明朗</u>	(4) <u>誠実・明朗</u>	(4) <u>真理愛・理想の実現</u>	
	(5) <u>個性の伸長</u>	(5) <u>真理愛・創意工夫</u>	(5) <u>向上心・個性の伸長</u>	
		(6) <u>個性の伸長</u>		
2 主として他の人とのかかわりに関すること				
(1) <u>礼儀</u>	(1) <u>礼儀</u>	(1) <u>礼儀</u>	(1) <u>礼儀</u>	
(2) <u>思いやり・親切</u>	(2) <u>思いやり・親切</u>	(2) <u>思いやり・親切</u>	(2) <u>人間愛・思いやり</u>	
(3) <u>友情</u>	(3) <u>信頼友情</u>	(3) <u>信頼友情・男女協力</u>	(3) <u>信頼友情</u>	
		(4) <u>真容・謙虚</u>	(4) <u>異性の理解</u>	
(4) <u>感謝</u>	(4) <u>尊敬・感謝</u>	(5) <u>尊敬・感謝</u>	(5) <u>真容・謙虚</u>	
			(6) <u>尊敬・感謝</u>	
3 主として自然や崇高なものとのかかわりに関すること				
(1) <u>生命尊重</u>	(1) <u>生命尊重</u>	(1) <u>生命尊重</u>	(1) <u>生命尊重</u>	
(2) <u>自然愛・動植物愛護</u>	(2) <u>自然愛・動植物愛護</u>	(2) <u>自然愛・環境保全</u>	(2) <u>自然愛・畏敬の念</u>	
(3) <u>畏敬の念</u>	(3) <u>畏敬の念</u>	(3) <u>畏敬の念</u>	(3) <u>弱さの克服・生きる喜び</u>	
4 主として集団や社会とのかかわりに関すること				
(1) <u>規則尊重・公德心</u>	(1) <u>規則尊重・公德心</u>	(1) <u>公德心・規則尊重・権利義務</u>	(1) <u>法の遵守・権利義務</u>	
		(2) <u>公正公平・正義</u>	(2) <u>公德心・社会連帯</u>	
		(3) <u>役割と責任の自覚</u>	(3) <u>正義・公正公平</u>	
(2) <u>勤労</u>	(2) <u>勤労</u>	(4) <u>勤労・奉仕</u>	(4) <u>役割と責任の自覚</u>	
(3) <u>家族愛</u>	(3) <u>家族愛</u>	(5) <u>家族愛</u>	(5) <u>勤労・奉仕・公共の福祉</u>	
(4) <u>愛校心</u>	(4) <u>愛校心</u>	(6) <u>愛校心</u>	(6) <u>家族愛</u>	
(5) <u>郷土愛</u>	(5) <u>郷土愛</u>	(7) <u>郷土愛・愛国心</u>	(7) <u>愛校心</u>	
	(6) <u>愛国心・国際理解</u>	(8) <u>国際理解・親善</u>	(8) <u>郷土愛</u>	
			(9) <u>愛国心</u>	
			(10) <u>国際理解・人類愛</u>	

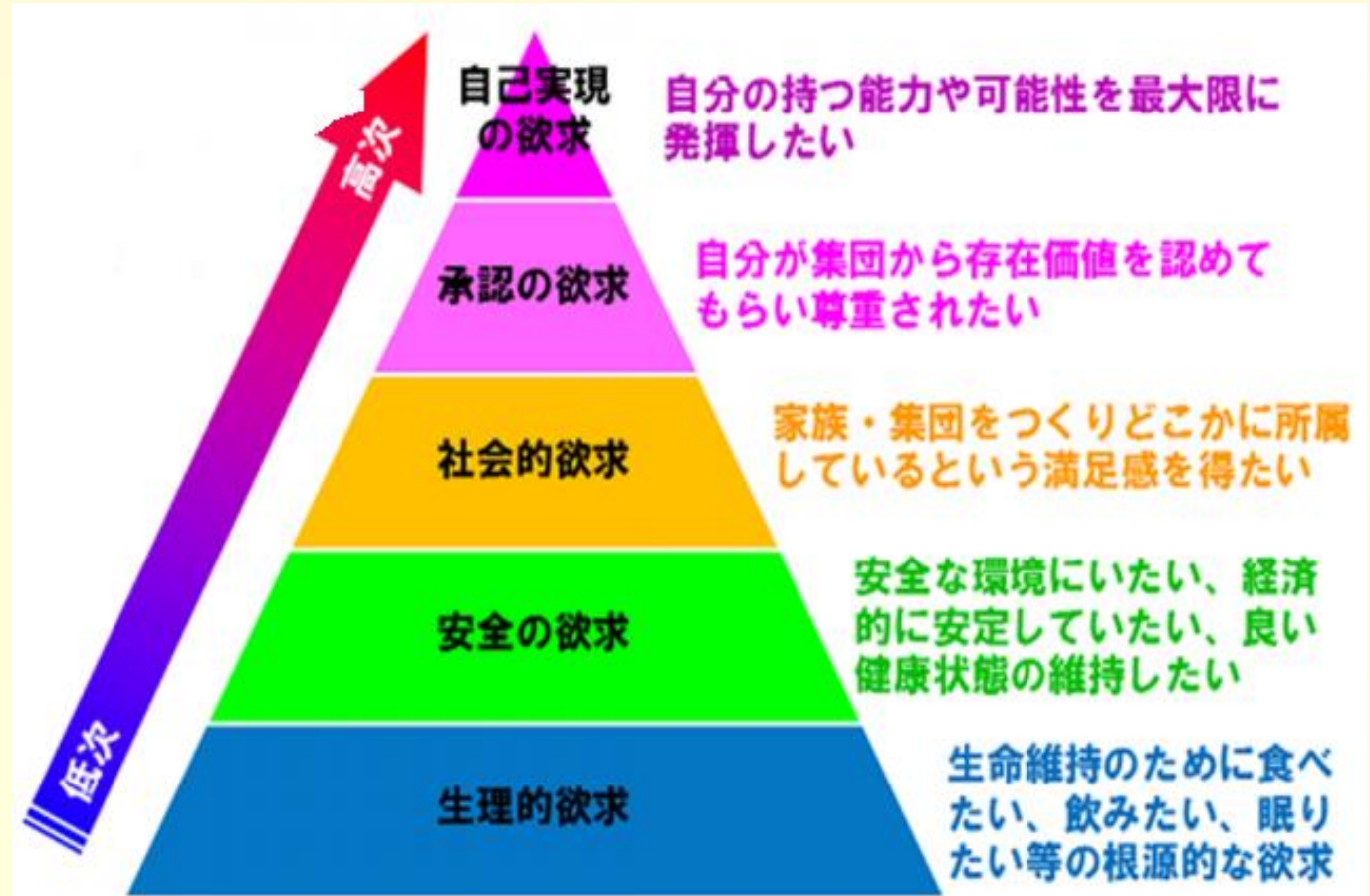
【道徳のねらい】

道徳教育の目標は、第1章総則の第1の2に示すところにより、学校の教育活動全体を通じて、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などの**道徳性を養うこと**とする。

① 発達的特質の理解

- 身体的発達
- 知的発達
- 社会性の発達
- 自我の発達
- **基本的欲求の発達**

マズローの欲求5段階説



課題分析（カテゴリ分類）のポイント

課題分析・分類のポイント

【2つの面から特質を把握する】

① 発達的特質の理解

- ・ 身体的発達
- ・ 知的発達
- ・ 社会性の発達
- ・ 自我の発達
- ・ 基本的欲求の発達

② 個人的特質の理解

- ・ 認知的特質
- ・ 性格的特質
- ・ 態度一意欲の特質

② 個人的特質の理解

・ 認知的特質

・ 性格的特質

・ 態度—意欲の特質

(知能・学力・認知及び学習のスタイル)

学習指導要領

確かな学力

基礎・基本を確実に身に付け、
自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、
主体的に判断し、行動し、
よりよく問題を解決する資質や能力

生きる力

豊かな人間性

自らを律しつつ、
他人とともに協調し、
他人を思いやる心や感動する心
など

健康・体力

たくましく生きるための
健康や体力

② 個人的特質の理解

- ・ 認知的特質
- ・ 性格的特質
- ・ 態度—意欲の特質

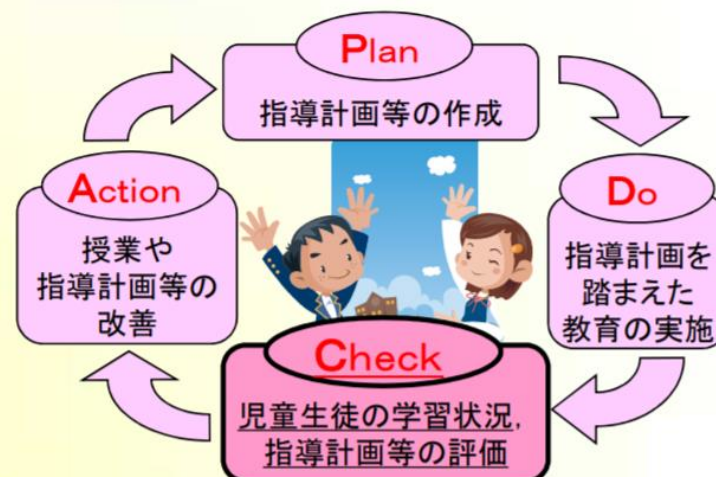
(知能・学力・認知及び学習のスタイル)

学力の3要素
(学校教育法)
(学習指導要領)

知識及び技能

思考力・判断力
・表現力等

主体的に学習に
取り組む態度



② 個人的特質の理解

・ 認知的特質

・ 性格的特質

・ 態度—意欲の特質

(性格特性・人間関係)

- ・ 外向性
- ・ 協調性
- ・ 良識性
- ・ 情緒安定性
- ・ 知的好奇心

主要 5 因子検査

小児用エゴグラム 

- ・ 社会的機能を果たそうとする自我
- ・ 他人を養い育てる自我
- ・ 論理的・合理的に思考する理性的な自我
- ・ 生まれながらの自分を自由に発揮する自我
- ・ 他人の顔色をうかがい順応していく自我

② 個人的特質の理解

・ 認知的特質

・ 性格的特質

・ 態度-意欲の特質

興味・関心

目標意識

知的好奇心

競争原理

強化子

成功感

社会的動機 

経過・成果意識

自己動機付け

支援計画を立てる手順 ③

【課題分析のポイント】



子どもの「ヒストリー」から「ストーリー」を！

- 1 なぜ、放課後等デイサービスを利用しようと思ったのか？（保護者・本人）
- 2 何が本人、もしくは家族の問題・課題なのか？（表のニーズから真のニーズを導き出す）
- 3 問題・課題の具体的な経過説明（いつから？ どこで？ どんな状況？ 期間？ 程度は？など）
- 4 問題・課題理解に必要な関係機関（学校・医療・併用事業所・地域資源など）の情報
- 5 本人・家族は、その問題・課題をどのように感じ、考えているのか？
- 6 問題・課題は、本人や家族が日常生活を営むのにどれほどの支障を生んでいるのか？
- 7 問題・課題は、どのような発達段階で起きていることなのか？（課題の要因分析・ストーリー化）
- 8 本人の成育歴（成長過程で起こったできごとやエピソード、家族や身近な人との関係性）
- 9 本人のもつ特技、よさ、長所、強みはなにか？
- 10 本人の性格傾向、価値観は何か？など
- 11 その問題の解決に際し、どのような働きかけがなされてきたか？または、その予定は？
- 12 問題・課題に影響を及ぼしているキーパーソンはだれか？（よくも悪くも）
- 13 この問題・課題について、影響を及ぼしている人以外の環境や仕組み、決まりなどがあるか？
- 14 この問題・課題を解決するにあたって、利用・活用できる人的・物的・社会資源は何か？
- 15 本人のどのようなニーズが満たされれば、問題が解決に向かうのか？

【チャレンジ】 社会資源マップ（エコマップ）の作成

※ 目の付け所は、ものやひと、環境そのものに加えて、それらの関係性がどうであるか？

- ・ **基本情報（氏名 所属 生年月日など）**
- ・ **家族構成（家族の仕事や生活状況 経済状況など）**
- ・ **ニーズ（本人 家族）**
- ・ **関係機関（学校 病院 他の利用事業所 地域の社会資源など）**
- ・ **生活歴・障がい歴（障がいの認定 療育相談の経緯など）**
- ・ **現在の状況（日常生活 行動の特性や問題 コミュニケーション
健康面 社会生活能力 興味関心・強み 医療情報
他の関係機関の情報など）**